



○わたしの遺産探し～震災のエピソード場所をめぐる
フィールドワーク～を実施しました！

東日本大震災から、まもなく10年。震災の記憶を風化させず、自分達が住む七ヶ浜を巡り、当時の状況やエピソードを知るとともに、現在の様子を見て回るフィールドワークを実施しました。当日は地元の中学生8名が参加し、コースの一つである「同性寺」では、同地区で幼稚園に勤める方にお出迎えいただき、当時の避難の様子を教えてくださいました。参加者は、訪れた場所での当時のエピソードを聞くこと、熱心にメモを取り、印象に残った風景などを、使い切りカメラで記録しました。メモや写真は、後日あらためてみんなで集まり、壁新聞としてまとめ、きずなハウスに掲示中です。震災当時はまだ幼く、今まで知らなかったことが多かったようですが、今回のフィールドワークを通じて、震災当時、自分たちの町で起こったことを知り、学ぶ事の大切さを感じられるものとなりました。

【当日訪れた場所】松ヶ浜漁港～五社明神[ごしゃみょうじん]（古くから「ここに来れば津波に遭わない」と言われていた招又[まねきまた]と言われる場所があるが、東日本大震災では、ここまで津波が来た）～菖蒲田浜公民館跡地～同性寺[どうしょうじ]高台～眺洋台[ちょうようだい]～蓮沼苑[はすぬまえん]（震災慰霊碑が設置された場所）



上：慰霊碑にて 下：壁新聞



【参加者の声】当時2、3歳だった私達は、震災の記憶もあまりなく、今回のフィールドワークを通じて、七ヶ浜の震災の様子を、少し知ることができました。もっと知りたいし、防災の事についても学んでいきたいと思えます。そして、その事をたくさんの人に伝えていきたいです。

※この取り組みは、七ヶ浜町「心の復興」事業補助金の交付を受けて実施しました。

○つながりの集い in 七ヶ浜～オンラインで再会しよう！～を開催します！

七ヶ浜の住民の方々と東日本大震災以降、様々な形で復興に携わっていただいた企業・ボランティアさん等が、オンライン上で再会し、当時のことや、現在について語り合いながら、これまで、そして、これからの「つながり」を、改めて深め合うイベントを開催します。避難所や仮設住宅での足湯・サロン、RSYの活動拠点「ボランティアきずな館」・「きずなハウス」、仮設店舗七の市商店街、きずな工房、地元の漁師さんなど、様々な時と場所にいらっしゃった町民の方々が登場します。七ヶ浜とゆかりのある方々をはじめ、お時間のある方々はぜひご参加下さい！

●日時：2021年1月11日（月・祝）13：30～16：00 ●参加形態：Zoomによるオンライン

●参加申し込み：https://forms.gle/YjYRsoTFs1aC34EM8

（右側のQRコードからもお申し込みできます。）

（締め切り：1月8日（金）12：00まで。後日ZoomのURLをお送り致します。）

●主催：Voice from 3.11 実行委員会



七ヶ浜みんなの家きずなハウス

〒985-0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-9
生涯学習センター敷地内

TEL：090-9020-5887 / Mail：info@rsy-nagoya.com

運営：認定NPO法人レスキューストックヤード

きずなハウス情報は
こちらから →
Facebook  にて
「きずなハウス」で
ご検索ください。



RSY 七ヶ浜の主な取組

12月

12月6日（日）9:30～12:00
・わたしの遺産探し
～震災のエピソード場所をめぐる
フィールドワーク～

1月の予定

1月11日（月）13:30～16:00
・つながりの集い in 七ヶ浜
～オンラインで再会しよう！開催
1月17日（日）10:00～12:00
・笹山ちゃせご

昔懐かしい「ちゃせご」にちなみ、「あきの方からちゃせごにきした～」の口上とともに、子ども達が折り紙で作った「お多福」などを、笹山地区の皆様一軒一軒にお配りします！コロナウイルス感染症対策として、ポスティングでの配布とさせていただきますが、今年一年の縁起をお届けします！

※ちゃせご…かつては宮城県各地で行われ、小正月に子どもが「福の神」として家にやってきて、訪れた家は幸せになるという風習・行事。